

Nat. Hist. Mus. Inst., Chiba, Special Issue), (10) : 61–232.
 齊藤明子・尾崎煙雄・鈴木 勝, 2017. 「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その1. 房総の昆虫, (60) : 62–66.
 相模原市立博物館, 2001. 昆虫類標本/コウチュウ目. pp. 19–142, 相模原市立博物館資料目録 桐生亮コレクション標本目録, 190 pp.
 佐々木茂美, 1995. 番匠川流域の昆虫相の解明. 二豊のむし, 30: 1–59.
 笹岡康則・木野田 毅, 2013. 綾町等の甲虫の記録. タテハモドキ, (49) : 1–16.
 初宿成彦編, 2012. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 (2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 44 集, 372 pp.
 須田 亨, 2002. 群馬県の歩行虫Ⅲ. 乱舞, (11) : 94–115.
 高桑正敏・苅部治紀, 1996. 神奈川県の甲虫相の特徴とレッドデータ種. 神奈川県立生命の星・地球博物館編, 追われ

る生きものたち—神奈川県レッドデータブック調査が語るもの—(神奈川県立生命の星・地球博物館特別展図録), 130 pp.
 釣巻岳人, 2014. 清澄山のモリアオホソゴミムシについて. 房総の昆虫, (53) : 67.
 吉松慎一・伊藤 昇・中谷至伸・吉武 啓, 2018. 農業環境変動研究センター所蔵の田中和夫コレクション オサムシ上科 (昆虫綱: コウチュウ目) 標本目録. 農研機構研究報告 農業環境変動研究センター, (39) : 15–191.
 吉武 啓・栗原 隆・吉松慎一・中谷至伸・安田耕司, 2011. 農業環境技術研究所所蔵の土生視申コレクション (昆虫綱: コウチュウ目: オサムシ科) 標本目録. 農業環境技術研究所報告, (28) : 1–329.

(2019年8月11日受領, 2019年9月20日受理)

【短報】イリオモテクシヒゲジョウカイの石垣島からの記録および西表島からの追加記録

イリオモテクシヒゲジョウカイ *Laemoglyptus iriomotensis* Wittmer は, Wittmer (1972) により西表島から記載された種であるが, その後の採集記録はきわめて少なく, しかも石垣島からの記録は無いと思われる. 今回, かなり古い採集記録ではあるが, 石垣島で採集された個体が見いだされたので, 新分布記録として報告する.

1♂, Mt. Omoto, Ishigaki Is., 9. V. 1978, K. Deguchi 採集・筆者保管 (図).

なお, タイプ産地の西表島からの追加記録もあまりないようであるので, 筆者の手元にある個体と杉本可能氏の記録を合わせて報告する. なお, 本種を採集された杉本氏によると, 大富林道の標高 200 m 地点に咲いていたハイノキ科の花で雨が降り出す直前に掬って採集し, その後, 見ていると次から次に花に飛来したとのことである.



図. イリオモテクシヒゲジョウカイ.

4♂♂ 4♀♀, 西表島大富林道, 16. IV. 2016, 土田孝採集; 6♂♂ 9♀♀, 同所, 16. IV. 2015, 杉本可能採集; 1♂ 1♀, 同所, 18. IV. 2015, 杉本可能採集; 1♂, 西表島古見林道, 23. IV. 2017, 土田孝採集.

本報告にあたって, 採集記録ならびに採集時の情報をご教示いただき, そして公表を許して下さいました杉本可能氏, ならび

に標本の一部を提供していただいた浜松医科大学の土田孝博士に深謝申し上げます.

引用文献

Wittmer, W., 1972. 55. Beitrag zur Kenntnis de palaearktischen Cantharidae und Malachiidae (Col.). Entomologische Arbeiten aus dem Museum G. Frey Tutzing bei München, 23: 122–141.

(高橋和弘 259–1217 平塚市長持 239–11)

【短報】千葉県におけるホソクシヒゲアリヅカムシの記録

ホソクシヒゲアリヅカムシ *Ctenisodes discedens* (Sharp, 1883) は, 九州人吉から記載されたアリヅカムシで, 本州, 伊豆諸島 (御蔵島, 神津島), 淡路島, 佐渡, 九州, 対馬から分布が知られる (柴田ら, 2013; Nomura & Kamezawa, 2017), 珍種というほどではないが一度に得られる個体数は少ないという (野村, 2001).

本州北部は山形県, 宮城県, 福島県の東北3県から記録されており (野村, 2018), 南部に片寄った分布を示すアリヅカムシではない. ただし, 関東地方からの記録は非常に少なく, 島嶼部を除けば東京都本土部からの



図1. ホソクシヒゲアリヅカムシ♂ (君津市産, スケールは 0.5 mm).



図2. ホソクシヒゲアリヅカムシ確認環境 (君津市).

詳しい地名, データをとまわらない古い記録が存在するだけで (久保田, 1949), 神奈川県, 千葉県, 埼玉県, 茨城県, 群馬県, 栃木県からも記録が見いだせない。

筆者は, 千葉県において本種を確認しているの
で報告する。

1♂, 千葉県君津市草川原, 7. IV. 2019, 筆者採集, 保管。

千葉県初記録. 山間の小規模なススキ草地においてススキの根際のリターから目視によって採集された。ススキ草地に接して雨が降ると細流となって流れる山道があり, ススキ草地の一画には小規模の湿地があった。そのため, ススキの株元の地表面にもコケが生えているなど, 乾いたススキ草地にはみられない特徴があった。

ただし, 本種はススキ草地のリター層に特有のものではなく, 野村 (2018) によれば, やや乾燥気味の土壌中にみられることが多く, 林道沿いの崖に溜まったリター層のシフティングでも得られるという (野村, 私信)。また, 筆者の経験でも, 伊豆諸島の御蔵島では照葉樹林内の比較的暗い尾根部分のシフティングでも複数個体を確認したことがある (Nomura *et al.*, 2013)。

末筆ながら, 採集に同行してくださった菅谷和希氏 ((株) 環境指標生物), 標本を同定し, 本種に関する情報をくださった野村周平博士 (国立科学博物館) に深謝する。

引用文献

- 久保田政雄, 1949. 日本産蟻塚蝨科目録. 驪山會々誌, 3: 1-10.
野村周平, 2001. 京都府下から記録されたアリヅカムシについて. わじればね, (95): 1-8.
野村周平, 2018. 東北地方の宮城県ならびに近隣諸県のアリヅ

カムシ相 (ハネカクシ科, アリヅカムシ亜科) に関する資料. さやばねニューシリーズ, (29): 35-42.

Nomura, S., Kamezawa, H., & S. Arai, 2013. A review of Pselaphine beetles (Coleoptera, Staphylinidae) from the Izu-shotô Isls., Tokyo, Japan. Elytra, Tokyo, new series, 3 (1): 31-43.

Nomura, S. & H. Kamezawa, 2017. Further study on Pselaphine fauna (Coleoptera, Staphylinidae) from Izu-shotô Isls., Tokyo, Japan. Elytra, Tokyo, new series, 7 (1): 67-83.

柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田孝・渡辺泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録 (昆虫綱: 甲虫目). 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69-218.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)

【短報】伊豆大島で初記録された水生甲虫 5 種

伊豆大島は, 東京都大島町にある約 90 km² の離島である。火山性地形が卓越する島であるため, 溶岩や火山灰をはじめとした火山噴出物が表層を覆っており, その透水性の高さから雨水を地中に留めておけず, 恒常河川が形成されにくい性質を持つ (新藤, 1992)。そのため, 自然水域は非常に限定されるが, 農業用のため池や湧水を源にする小河川が僅かに存在する (荻部ほか, 2013)。伊豆大島における水生甲虫相は, 近年東京都による小笠原諸島・伊豆諸島を含む島嶼部のレッドデータブックで取り上げられているほか (東京都環境局自然環境部, 2014), 吉富 (2014) や北野 (2015) によって報告されている。

筆者らは, 2018 年 10 月 15 日から 17 日に, 伊豆大島内の河川 12 地点および池 1 地点で採集をし, これまで記録のなかった水生甲虫を採集したので報告する。なお, 標本はすべて筆者の一人である佐野が保管している。

ホソセスジゲンゴロウ *Copelatus weymarni* Balfour-Browne, 1946 (図 1A)

1♀, 大島町泉津, 15. X. 2018, 佐野採集; 3♂ 2♀, 大島町差木地, 16. X. 2018, 佐野・山田採集。

ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis* (Macleay, 1825) (図 1B)

1♀, 大島町差木地, 16. X. 2018, 山田採集。

コガムシ *Hydrochara affinis* (Sharp, 1873) (図 1C)

1♂ 3♀, 大島町差木地, 16. X. 2018, 佐野・山田採集。

ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (Fabricius, 1792) (図 1D)